



オリジナルの振り付けで息の合ったダンスを見せる2人

昨年10月、福岡市で開催された西日本最大級のダンスコンテスト「メンソレータム DANCE CONTEST 2019 DANCE BATTLE with HEAD HUNTER 決勝大会」において、市在住の女子中学生ダンスユニット「リオ◇ミント」が、ペア部門で見事準優勝に輝きました。同大会は、九州各県の予選を勝ち抜いた出場者らが、一般や高校生など全5部門で技を競うもので、ペア部門は20組が出場。本県代表として出場した「リオ◇ミント」は、梅野梨緒さん（当時・五十市中3年）と長田美音さん（当時・西中2年）からなる二人組のダンスユニットで、「本番はとても緊張したが達成感があった」と声をそろえ、大会を振り返ります。

Smiling faces of miyakonojo 人の風景

2人は、共に小学校低学年からダンスを始め、久保原町にあるダンススタジオElementに所属。手足のねじれや手首の素早い動きが特徴で、日本では踊り手が少ないジャンルのダンス「ヴォーグ」を学び、舞台経験を重ねながら、技を磨いています。

身長や手足の長さがほぼ同じの2人は、個性的な表現力や柔軟性を生かしたダンスが評判となり、日本のダンス界の神様といわれる人物やニューヨークの伝説のダンサーから、「奇跡のペア」と称され、平成30年4月に「リオ◇ミント」を結成しました。

「リオ◇ミント」は、音楽に合わせて、肩を外すような動きをしたり、対称的に手首を動かしたりしながら、息の合った素早い動きと幻想的な振る舞いで、見る人を魅了。結成から1年余りで、国内外のコンテストに出場し、数多くの賞に輝きました。そして、都城を拠点に、九州各県のテレビ番組に出演しダンスを披露するなど、活躍の場を広げています。

普段は、学校が終わると毎日スタジオで練習に励み「踊ることが楽しくて仕方がない」と満面の笑みを見せる「リオ◇ミント」。自身もダンサーであり、同ダンスス

クルールの講師も務める橋村英治代表は、「日本のダンス界で、将来最も有望な2人。さらに上を目指し、世界で羽ばたいてほしい」と力を込めます。

現在もさまざまなイベントに出演するなど、慌ただしく各地を飛び回る「リオ◇ミント」。「ダンスの技を磨き、いつか2人一緒に、世界で活躍できるダンサーになりたい」と、瞳を輝かせていました。



メンソレータム
DANCE CONTEST2019
DANCE BATTLE with
HEAD HUNTER決勝大会
ペア部門 準優勝
リオ◇ミント(左から)

梅野 梨緒 さん
長田 美音 さん

「奇跡のペア」
世界を夢見て
技を磨く!

